

琵琶湖に注ぐ犬上川の源流域の14集落で構成される多賀町大滝地区。豊かな自然と、そこで育まれた生活文化、生業、産物、人柄などを活かした、地域の課題解決や魅力の創造に向けての活動が推進されています。この紙面では、それら取り組みや大滝の魅力を紹介していきます。

発行：多賀町里づくり魅力化プロジェクト
編集：滋賀県立大学まちづくり研究室 担当：朝比奈遥

多賀町里づくり

魅力化プロジェクトって？

多賀町里づくり魅力化プロジェクトは、大滝地区の活性化を実現するために組織された委員会です。大滝地区14の各字から1,2名と大滝小学校の藤谷校長先生、たきのみやこども園の大橋園長先生、元新聞記者の西村さん、県立大学の鵜飼先生で構成されています。2020年8月から月1回の定例会を開催し、これまでの調査や取り組みをふまえ、地域の課題解決や、魅力の創造にむけた活動を行っています。



▲委員会の様子

世代が居住することや暮らしの豊かさを継承・創造することを目標に、まず自分たちの地域の課題を解決していこうとしています。各部会の取り組みとしては、農林と食部会では気軽に飲める居場所づくりや、大滝の産品を活かした「おたき給食弁当」を開発中です。交流部会では、大滝まじりの再興を目指しつつ、各字の魅力を棚卸し情報発信しようとしています。

第1回	2020/8/29	自己紹介・事例紹介
第2回	2020/9/26	ゴールを確認・共有しよう！
第3回	2020/10/25	やりたいことを話し合おう！
第4回	2020/11/14	グループに分かれて何をするか話し合おう！
第5回	2020/12/19	参考事例の話を聞いた感想を共有しよう！
第6回	2021/1/23	これからの進め方を話し合おう！
第7回	2021/2/27	みんなが考えた企画を共有しよう！
第8回	2021/3/27	部会の進捗状況を共有しよう！



▲自然豊かな大滝、魅力がたくさん！

す。住部会は、課題解決や魅力発信をいっつつ進めていきます。委員会は役場に指名されたメンバーで、皆さん大滝愛あふれた方々です。「わたしも大滝が好き！」という方はぜひ活動に参加してください！

「地域循環共生圏」採択されました！

委員会での実践内容をふまえて、環境省の地域循環共生圏の助成事業に応募し、採択されました。



▲地域循環共生圏の未来図

「各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方」（環境省HPより）です。

この採択をバネに、プロジェクトを推進していきたいと思っています！

隣の地域の取り組みを視察

7月18日に、隣の東近江市へ視察に行きました。訪問先は、あいとうふくしモール、奥永源寺の自動運転、株式会社みんなの奥永源寺です。



▲農家レストラン「野菜花」のランチ

あいとうふくしモールは、地域課題解決の取り組みとして全国的に有名です。農家レストラン、福祉作業所・カフェ、古民家を拠点とした福祉サービス、市民発電所などが連携して活動しています。農家レストラン「野菜花」は地元野菜にこだわった料理で多くのファンを獲得しています。福祉サービスでは、4月から開始されていて、奥永源寺の道の駅から銚子ヶ口入口までの2.2kmを往復し、週4日、1日6便

が定期的に運行されています。乗車率は75%ほどで、日曜日に臨時運行される早朝便で地元の方が、野菜を道の駅に運ぶのにも活用されていることです。補助のドライバールは必要ですが、これからの移送サービスの形としての可能性を感じました。みんなの奥永源寺は、君ヶ畑集落で活動しています。社長の前川さんは、33才。地域おこし協力隊として集落に入り、集落で栽培した紫根で化粧品を開発し販売する事業を核に、様々な取り組みをされています。イワナツかみイベントや木工品の制作販売は、「木地師のふるさと高松会」が実践されています。前川社長の1つ上の方が65才を超えているという限界集落ですが、地域資源を上手に活用した取り組みとして大変参考になりました。

